

**最優秀賞・  
優秀賞!!**

## 第75回日本学校農業クラブ連盟全国大会 岩手大会

日頃の専門的学習の成果を競う『農業鑑定競技会』に7名、農業クラブ員として意見を発表する「意見発表会」の分野I類（農業生産・農業経営）に1名が熊本県代表としての生徒が出場し、1名が最優秀賞、4名が優秀賞を獲得しました！



### 《最優秀賞受賞》

総合農業科1年1組 伊東 和志 さん（森林の部）

### 《優秀賞受賞》

総合農業科3年 井上 夢来 さん（農業鑑定競技会 森林の部）

食品科学科3年 永田 詩音 さん（農業鑑定競技会 食品の部）

総合農業科3年 西 彩名 さん（農業鑑定競技会 農業土木の部）

総合農業科3年 池上 姫加梨 さん（意見発表会 分野I類）

令和6年10月23日（水）～24日（木）にかけて『第75回日本学校農業クラブ連盟全国大会』が岩手県で開催されました。本校からは、農業鑑定競技会に県大会を勝ち抜いた7名の生徒と県大会と九州大会を勝ち抜き九州ブロック代表として意見発表会に1名が参加しました。

「農業高校の甲子園」とも称される同大会の農業鑑定競技は、農業や園芸、畜産、食品、森林、農業土木、造園、生活の8部門で競われ、全国から約1,000名の生徒が出場しました。農業鑑定競技とは、農業の各分野で使用される器具の名称や用途、生物・植物の実物や写真などから判定診断、木材の材積を計算する問題に限られた時間内で答え、その正答率を競うものです。まさに、日ごろの学習で身につけた知識や技術の成果を試す競技となっています。競技の結果、総合農業科1年1組伊東和志さんが森林の部で日本一の栄冠に輝くことができ、参加した生徒から3名が優秀賞に入賞しました。

意見発表会は、分野I類（農業生産・農業経営）に出場しました。この分野は農業生物の育成や生産性向上に関する意見や農業生産物の加工・流通・消費に関する意見、農業の経営や経済活動に関する意見について発表します。発表のタイトルは「Life is 牛tiful ～牛飼いになるための物語～」。その内容は家業である畜産業（黒毛和種繁殖経営農家）や学校でのウシを中心とした学びについて述べたものでした。

それぞれの活動から学んだことや感じたことをとおして、将来の自分の姿を構築していくものでした。全国大会という大舞台で自己ベストといえる素晴らしい発表をしました。



# 至誠

南稜高校  
育友会会報

発行所  
熊本県球磨郡あさぎり町  
上北310  
南稜高等学校  
育友会広報委員会  
第72号



## 第58回全日本高等学校馬術競技大会

### （団体戦） 3位入賞！

6月に行われた九州地区予選会を突破し、7月に静岡県御殿場市で開催された標記大会に出場しました。

私は初めての出場で、会場を見たときあまりの広さに驚きました。初戦は先輩方の活躍により二回戦に駒を進めることができました。先輩の緊張が自分にも伝わり、全国という舞台が先輩たちにとってどんなに大切なものか感じられました。二回戦では競技に出場することができ、先輩たちの足を引っ張らないようにという思いで挑みました。緊張もありましたがいつも通り楽しみながらリラックスして走行できました。二回戦をチームの総減点ゼロで終えたときの喜びと安心感は今でも忘れられません。結果は3位入賞と素晴らしい功績を残すことができました。大会出場にあたりたくさんの方々に応援していただき励みになりました。本当にありがとうございました。これからも関係者の皆さまやチームメイト、馬たちに感謝を忘れず来年度に向けて頑張っていきたいです。

私は先輩方と全国の地に立てたことを誇りに思います。

食品科学科2年 馬術部 主将 永井 紫杏



11月12日

# 収穫感謝祭



11月12日(火)に収穫感謝祭を本校グラウンドで開催しました。今年度は当日にセレモニーと会食の準備を実施した開催となりました。昨年度と違う準備になりましたが、学校農業クラブ役員の活躍でスムーズに進行することができました。

祭壇には「命」を象徴するお供え物が多く祀られ、セレモニーで各学科の代表者が食べ物への感謝の言葉を述べました。各クラスの調理が終わると、学校農業クラブ会長である総合農業科3年の井上夢来さんの「いただきます」で一斉に会食を行い、生徒のみなさんは笑顔で会食を楽しんでいました。



## 第4回 南稜マルシェ

育友会副会長 東 亜里紗

12月7日(土)に第4回南稜マルシェを開催しました。当日は心配された天気にも恵まれ、800人以上の方々にご来場いただきました。役員で前回の反省点を踏まえ何度も計画を練り直し、今回の南稜マルシェに至りました。出展者の方々、ステージ発表で盛り上げて下さった方々、また役員、保護者、先生方、生徒のみなさんのご協力により、ご来場の方の「また来年来るね」のありがたいお言葉をいただく事もでき、笑顔溢れる大成功な南稜マルシェとなりました。今後も南稜マルシェを次の世代に繋ぎ、発展していくことを期待し、楽しみにしています。皆様のご協力大変感謝いたします。ありがとうございました。



# 南稜祭

今年の南稜祭は、「笑顔広がれ」をテーマに、盛況のうちに幕を閉じました。1日目のステージ発表では、生活経営科の感動的なファッションショーをはじめ、吹奏楽部やクラス、有志の発表、そしてダンス部の華麗な踊りなど、生徒たちの熱演が会場を沸かせました。特に、ファッションショーでは、保護者の皆さまにも多くの温かいご声援をいただき、生徒たちにとっても忘れられない思い出となりました。

2日目の一般公開では、小雨の中、多くの方にご来場いただきました。食品科学科と地元のお店とのコラボレーションによる販売や、パザーなど、生徒たちはそれぞれの持ち場で活躍し、来場者の皆さまに楽しんでもらおうと一生懸命でした。

生徒たちの「あったかさ」が感じられる、素晴らしい南稜祭となりました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。



vol.16 文芸・アート部 なんりょうあるある

『今日もチキンは大人気』



芸術鑑賞 ニューヨークスクエアジャズコンサート

10月22日(火)5・6限目に芸術鑑賞を実施しました。今年度は、「ニューヨークスクエアジャズコンサート」という題目で、プロの方たちの演奏を聴きました。一緒に手拍子をして会場全体が一体感に包まれました。校歌や普段聞いている曲をジャズのアレンジで聴くと、まったく違った印象を受け、新鮮でした。ジャズの歴史についても学ぶことができ、楽しい芸術鑑賞となりました。



「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本に参加して

教諭 増村 健治

令和6年10月23日(水)と24日(木)の2日間、熊本城ホールに国内外約530名の高校生が集まり、「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本が開催されました。



本校からは、「自然との共生で減災を考える分科会」と「大規模災害を教訓として創造的復興を考える分科会」に7名の生徒が参加し、大変貴重な経験を行うことができました。英語力では力不足の感否めませんでしたが、本校で実施している雨庭や田んぼダムの実践を堂々と発表したほか、交流会でも積極的にコミュニケーションをとっている姿が印象に残っています。多様な参加者の個性に触れ、国際理解も深まったと思います。また、様々な国籍の生徒との交流を通じて英語を学ぶ意義・目的を再確認したようです。

また、サミット前の21日(月)には、スタディツアーも開催され、ツアーを受け入れた本校には6カ国(キリバス、シンガポール、中国、ブラジル、フランス、ミクロネシア)、41名の高校生や関係職員が訪れ、本校生との交流や防災学習、日本文化体験などに取り組んでいただきました。実施前には、本校生が来校者とコミュニケーションがとれるのかと心配していましたが、ま



ったくの杞憂でした。言葉がほとんど分からなくても身振り手振りで積極的にかかわり、しかも笑顔が絶えなかったことがとても素晴らしかったと思います。

本校生には、今回の経験を今後の生活に生かしてもらいたいと思います。

第73回全国高等学校PTA連合会大会2024茨城大会報告

令和6年8月22・23日に行われた、第73回全高P連茨城大会「歴史の町で変革を!!」に参加して参りました。

1日目のアトラクションでは、茨城県立水戸工業高校によるジャズ演奏に始まり、分科会では「保護者、教師、生徒が抱える問題と解決」と題し、司馬理英子氏による「のび太・ジャイアン症候群」のテーマで講演されました。

多様化した社会は教育現場にも例外なく影響を与え、様々な問題が生じている現代において、保護者が子供たちと接する時にどのようにして褒めたり、叱ったり、上手く寄り添えるのかなどを学びました。また、多動性や衝動性が特徴の子どもを「ジャイアン型」、不注意が特性の子どもを「のび太型」と称し、分かりやすく話してくださいました。一概に「わが子は」と決めつけるのではなく、いかに子どもに寄り添い、理解し、一緒に歩いていくかが大切だと改めて学ぶことができました。

2日目の全体会では、茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部(BLUEIHAWKS)による演奏のアトラクションがあり、83名という多人数での演奏は大迫力で圧倒されました。表彰式も行われ、今回一緒に参加した平野典之顧問(前育友会会長)が全国大会会長表彰個人の部を受賞



されました。

記念講演では、講師に二所ノ関寛氏(第72代横綱・稀勢の里)を招かれて行われました。個人的に相撲が好きなので少し話に集中できてない面もありました(笑)。どこにおいても「人材育成」は大変難しい事で、どう育て上げるか悩みながらも切り捨てる事はしない。様々な事を取り入れて一人前にしていく。言葉では簡単ですが、本当に難しいものだと実感した講演でした。

今回、このような大会に参加させていただき、皆が思っている事ややる事は変わらず、ただ1人1人に思いの差がある事を感じました。私自身もまだまだ力不足、勉強不足だと痛感しましたが、この様な大会に参加し、沢山の方と話をさせていただいたお陰で気付いた事が多くあり、本当に参加して良かったと思います。これを糧にこれからも子育て、育友会活動に尽力してまいります。

育友会会長 落合 佑樹



この度は、輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に思います。この賞は、保護者の皆様、育友会役員、学校のご協力、ご支援があってこそその賞だと思っております。今後も、ご恩返しのため引き続き育友会活動に尽力していきたいと思っております。結びに、南校高校育友会の益々のご盛會と南校高校のさらなる飛躍を祈念いたします。

平野 典幸 (R4・5年度育友会会長)

南校三福田拔穂祭

6月14日(金)に「三福田」で田植えを行った稲が大きく生長し、10月11日(金)に稲刈りにあたる「拔穂祭」を三部会(学校農業クラブ、生徒会、学校家庭クラブ)と育友会、教職員で行いました。

「三福田」とは、仏教用語で恩田、悲田、敬田の総称です。また、拔穂祭とは、農耕神事の一つで、稲刈りのことです。この日を迎えるまでに総合農業科植物コース作物専攻生の協力もあり、収穫できることに感謝しました。当日は天気も良く、農耕神事の儀式のとおり、もち米を一つ一つ鎌を使って収穫を行いました。



三学期の主な行事

- 1月 9日 始業式
  - 21日 24日 2年生修学旅行
  - 27日 代休(2月1日分)
  - 28日 31日 3年生学年末考査
  - 2月 1日 前期選抜会場設営 登校日
  - 3日 生徒休業日
  - 3日 3年家庭学習期間(27日)
  - 10日 17日 学年末考査
  - 25日 代休(3月1日分)
  - 28日 3年生表彰式・同窓会入会式
  - 3月 1日 卒業式
  - 10日 1年生教科書販売
  - 11日 2年生教科書販売
  - 21日 修了式
  - 28日 転・退任式
- ※各日程については予定であり、変更になる場合がございます。

編集後記

今年度、広報委員長を務めさせていただいております田中と申します。初めての広報委員会で右も左もわかりませんが役員全員で協力して行っています。さて、二学期はたくさんイベントがある中で、子供達の躍動感と感動を皆様に伝えられるように広報委員一丸となって撮影に挑みました。普段は授業参観や行事で見られない、笑顔で協力し合い一喜一憂している子供たちの様子を、至誠を通して感じていただけたら幸いです。

最後に、皆様方のご協力を頂き無事に発行できました事にお礼を申し上げますとともに、今後とも広報委員・育友会活動にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広報委員長 田中 翔一

